

北海道文化奨励賞

よね はら しん じ
米 原 真 司

道立工業試験場に5年間在籍後、北海道から世界に発信できるガラス芸術家を目指して独立し、ガラスの特性を引き出した独創的な造形に挑み、関係者から高く評価されている。それらの作品は主要な展覧会で数々の賞を受賞するとともに国内外の美術館に収蔵されるなど、道内のガラス工芸界に刺激を与え、北海道のガラス工芸の普及と発展に大きな功績を挙げ、今後一層の活躍が期待されている。

- 昭和63年 北海道立工業試験場のガラス工芸科に研究職員として勤務
平成3年 「世界現代ガラス展World Glass Now'91」出品
平成5年 道銀芸術文化奨励賞
// 「日本の新しいガラス展」(ドイツ) ヨーロッパ4美術館で1年間の巡回展
平成6年 江別市に野幌硝子工芸舎を設立し、ガラス工芸家として独立
平成7年 「札幌芸術の森クラフト全国公募展」北海道新聞社賞
平成8年 「メイド・イン・ジャパン」展(デンマーク)出品
平成10年 「国際ガラス展・金沢'98」銀賞
// 北海道「荣誉賞」記念品制作
平成11年 「第2回現代ガラスの美展 in 薩摩」南日本新聞社賞
平成13年 個展 チャペルギャラリー(ニューヨーク)
// 「国際ガラス展・金沢2001」奨励賞
平成14年 「日本のガラス展'02」藤田喬平賞
平成15年 「Outspoken Glass 遠慮のないガラス展」出品
// 「国際ガラス器招待展2003」(アメリカ)出品
// 「日本の現代ガラス展」(ハンガリー)出品